

人が造ったギリシャの自然

東京農工大学大学院 福嶋 司

○ギリシャ

- ・ギリシャはバルカン半島の先端部に位置する面積 13 万 2000km² (日本の3分の1、北海道と九州をあわせたくらいの面積)、人口 1094 万人。
- ・イオニア海を挟んで西でイタリア、北でブルガリア、アルバニア、マケドニアに接する。
- ・3300 の島からなり、200 に人が住む。最大の島がクレタ島。
- ・宗教：ギリシャ正教 (古代キリスト教のローマカトリックから分派)。
- ・国名はエラダ (グリースは英語、ギリシャは日本語)
- ・気候：地中海式気候 (夏季乾燥・冬季降雨；(6~9 月は 35℃以上、11~1 月は降雨日多い)
- ・シiesta (昼寝) ……13:00-16:00 は閉店

(今回紹介する地域)



○クレタ島

- ・面積 8336km² (兵庫県とほぼ同じ面積) の島。アフリカ大陸まで約 300km。
- ・山岳と丘陵が大部分を占め、海拔 2000m 以上の山岳を多く持つ。

- ・クレタ文明・・・BC2600年ころからのエーゲ文明のうち、BC2000年～BC1500年にクレタ島で栄えた青銅器文明。ミノワ文明とも言う。1900年にイギリス人エバンズにより巨大な宮殿跡の発見により実在を確認。
- ・麦・オリーブの農業とヤギ・羊の牧畜、海上貿易
- ・BC1600年ころ、中央集権的都市国家を形成。木材の大量伐採、自然破壊の進行で文明衰退。BC1400年ころアカイア人の侵攻で文明崩壊。

1. ハニヤ・・・ベネチア時代の古い町並みとベネチア・ポート
 - ・国際植生学会第52回大会会場
「Vegetation processes and human impacts in a changing world」
2. オマロス プレーン・ギンギロス山(Omalos Plain & Mt. Gingilos)
 - ・生育種数 331 種のうち、63 種が固有種。
 - ・乾燥立地での植物
 - ・樹木類 5m 程度・・・サイプレス類 (*Cypressus sempervirens*) ,カエデ類 (*Acer sempervirens*), ケヤキ類 (*Zelkova abelicea*) ,カシ類 (*Quercus coccifera*), ユニペルス類 (*Juniperus oxycedrus*), メギ類 *Berberis dretica*, クラタエグス類 (*Crataegus monogyna*)、オトリシソウ類 (*Hypericum perforatum*)
 - ・フリガナ(Phrygana) 0.5m くらいの低木群落
伐採後の土壌浸食とヤギとヒツジによる採食圧 (グレージング) で形成されることが多い。後に出る「マッキー」よりもより乾燥地帯に成立する。

○ペロポネソス半島

1. コリントス運河 (Korinthos)・・・この運河は 6km,幅 23m、1893 年に完成したもので本土とポロポネソス半島を分けている。
 - ・この地域はギリシャの中で最も乾燥する地域であり、6 月はじめにはすでにほとんどの草本が枯れていた。
2. ミケーネ(Mycenae)
 - ・ミケーネ文明・・・クレタ文明を吸収したギリシャ文明の先祖の文明。
 - ・BC1450 年ころ、アルゴリス地方で興り、地中海交易で発達した巨石建築文明。線文字をもつ。BC1150 年ころ、地中海を放浪したドーリア人 (海の民) に滅ぼされる。
 - ・ミケーネ遺跡
 - ・トロイアを発掘したシュリーマン (独) が 1876 年に神話の世界とされていたミケーネを発掘。・・・ホメロスの詩。
 - ・円形墓地・・・アゲメムノンの黄金のマスク、装身具、宝剣。
 - ・ピスタチオ (サンショウの葉に似る)、アーモンド (桃の実に似る)
 - ・アンブレラパイン (*Pinus pinea*)
 - ・アトレウスの墓陵
 - ・ナフプリオン城 (Nauplion Castle)
 - ・城跡・・・海拔 216m, 1711 年ベネチアによって建設。城内の植物は多くのこの地域の固有種をもつ。ブルジイ島の要塞

3. キノウリア(Kynouria)

- ・牧歌的な風情をもつ海のリゾート。澄んだ海
-

4. パルノン(Parnon)

- ・東に向いた乾燥した谷では野生のキョウチクトウが生育している。
 - ・斜面にはマッキー (Macky) ・高さ 2-3m の常緑樹の多い群落で、フリガナ群落よりやや乾燥の弱い地域に発達する。
 - ・常緑ナラ(*Quercus ilex*)、トネリコ(*Fraxinus alnus*)、ローレル(*Laurus robilis*)、ビャクシン(*Juniperus oxcedlus*)
 - ・エロナス修道院 (Elonas)。・・・1300 年に修道院。現在の建物 1886 年。
 - ・周囲に 28 種の固有種。
 - ・パルノン山
 - ・海拔 700m 以上の地域は meso-mediterranean vegetation zone と呼ばれ、ギリシャモミ (*Abies cephalonica*)、シリアンビャクシン(*Juniperus drupacea*)の森林が発達する。海拔 860m 地点では 9-13m のモミ、ビャクシンの森林が広がり、林内には常緑ナラ、カエデが生育。
 - ・イノシシ、小型のシカ (Roe deer)、野鳥など野生動物の宝庫。
 - ・コスマス村(Cosmas)・・・クリ (*Castanea sativa*) 農園、プラタナスの広場。
-

5. スパルタ

- ・アテネから 250km、山に囲まれた町。
- ・スパルタ遺跡
 - ・町の北の丘に遺跡あり、ヘレニズム期から古代ローマ時代の遺跡。
- ・スパルタ教育・・・赤子の産湯はワイン、子供は国家の財産との考えから、7 歳より国家の集団養成所に入所、12 歳から厳しい軍事訓練。訓練中に障害が生じたものは殺害。生き残ったものだけを市民として認めた。30 歳まで兵役義務。女性にも各種の訓練があり、男の子を生むことが期待された。

6. ミストラ(Mistras)

- ・スパルタの街から西へ 6km、ビザンチンの廃墟と呼ばれる中世の遺跡。13C 初頭に十字軍の要塞。
- ・アギア・ソフィア教会・・・海拔 600m にある 14C 建設のビザンチンの教会
 - ・フレスコ画・・・赤色は植物 (アカネ科植物)、黒は動物の骨。
- ・パンタナサ教会・・・尼僧院
- ・マグワの果実は水分含有量が少なく美味。
- ・平らな豆状の植物・・・*Runaria*、エノキ属の種・・・*Celtis australis*

7. ランガダ溪谷(Langada gorge)

- ・低木林・・・マッキー
 - ・海拔 900m 付近、野生のプラタナス (*Platanus orientalis*) の溪谷林
 - ・海拔 1300m 付近、ブラックパイン(*Pinus nigra*)の森林
-

8. マニ(Mani)半島

- ・ヨーロッパで二番目の最南端の半島
- ・この地域の年降水量 350mm-600mm 乾生フリガナ(dry phrygana)

- ・バロニアオーク(*Valonia oaks*・・・*Quercus ithaburensis*)・・・農村で大切な樹木
 - ・デロス(Diros)の鍾乳洞・・・1200m をボートで、その後 300m 徒歩
・・・スペイン、アメリカの鍾乳洞とともに世界三大鍾乳洞
 - ・地域の植生タイプと分布
山火事 → フリガナ → マッキー → 常緑カシ林 への遷移
(自然の森林破壊の順序とは逆、山火事がヤギ、ヒツジの放牧に変わる)
 - ・カラマタ市の海岸・・・花卉のないキク科 (*Othanthus maritima*)
-

9. オリンピア

- ・オリンピアはペロポネソス半島の西部に位置する人口 1500 人の町。
 - ・アトランタと日本の稲沢市(愛知県西部、人口 13.7 万人)と姉妹都市
・・・国分啓治南山大学教授、稲沢市は 1987 年に締結。
 - ・オリンピア遺跡
 - ・1829 年フランス人の考古学者が遺跡発見。
 - ・1989 年世界歴史遺産登録。
 - ・古代オリンピック(BC8C に遡る)
 - ・ギリシャ神話で最高神のゼウスの祭礼の時に行われたのがオリンピック競技。
 - ・競技は 5 日間
 - ・競技者は事前に認定を受けるために合同練習・・・体育練習場(ギムナシオン)あり。
 - ・給水施設、宿泊所、浴場あり。
 - ・フィリオン・・・BC4C に戦争勝利記念に建築。
 - ・近代オリンピックの採火はヘラの神殿跡(ゼウスの奥さんの神殿)の東。
 - ・スタディオン(スタジアム)は BC4C 中ごろに建設・・・短距離競争の場所、トラックは幅 28.5m、長さ 192m、傾斜を持つ観客席。男性のみ 4.5 万員を収容。
1 スタディオン=約 191m。2004 年開催のギリシャオリンピックでは砲丸投げがこの競技場で行われた。
 - ・ゼウス神殿・・・64m×28m、高さ 20m。内部には 12m の金と象牙で飾られた巨大なゼウス像があった。神殿は 522AD と 551AD の 2 回の自身で倒壊。
 - ・オリンピア博物館
 - ・勝利の女神ニケ像、赤子のディオニソスをあやすヘルメス像有名。
-

○アテネ

- ・BC12-11C にポリス(国家)建設。BC5C 前半にペルシャ戦争(マラトンの戦い) BC4-3C・・・ギリシャの芸術と学問の中心(ソクラテス、プラトン、アリストテレス)。BC1C 東ローマ帝国。
 - ・アテネ文明
 - ・アピリアヌス門・・・高さ 18m、幅 13.5m、AD2C のローマ時代に建築。
 - ・アクロポリス遺跡
 - ・パルテノン神殿・・・BC438 年に完成。横 31m、縦 70m、柱の高さ 10m、周囲約 160m に 46 本の直径 2m、高さ 10m の柱。
 - ・ディオニソス劇場・・・BC6C に建設、1.5 万人収容、演劇の神を祭る。
 - ・アドリアヌスの図書館・・・BC2C に建設。
 - ・風の神の塔・・・BC1C～AD2C に使用。時計台。
-

○ギリシャの「食」

・食堂は「タベルナ」 (食事)

- ・ドルマーテス…ご飯・ひき肉・みじん切り野菜のミックスをブドウの葉で巻いたもの。日本の焼酎風の「ウヅ」(40度以上)との相性は抜群。
- ・スブラギ…肉などを鉄串で刺してグリルしたもの。串焼き
- ・ギロ…トルコの食べ物で、巻いてつるした肉を包丁でそいで食べる。
- ・グreekサラダ…トマト・キュウリ・オリーブ・フェタチーズ。オリーブオイルとワインビネガーで食す。
- ・フェタチーズ…ヤギの乳で作ったチーズ。強い塩気があり、特有な臭い。
- ・サガナギ…チーズを揚げたもの。
- ・サジキ…キュウリ・ヨウグルト・塩でつくり、シンプルな味。パンにつける。
- ・ムサカ…なす・ミートソース・マカロニを重ねて焼く。ラザニアに似る。

(飲み物)

- ・ウヅ(Ouzo)…水を入れると白濁、ミルツス (*Myrtus communis*) の臭い。
- ・ラキ…ぶどう酒を搾った後を蒸留。
- ・ブドウ酒…特に赤ブドウ酒は重厚な重みがあり、強いフレーバーを持つ。